



藤沢市



東京電力パワーグリッド

「カーボンニュートラル実現に向けた共創に関する連携協定」の締結について

2022(令和4)年5月27日

藤沢市

東京電力パワーグリッド株式会社藤沢支社

藤沢市（市長：鈴木 恒夫）および東京電力パワーグリッド株式会社藤沢支社（支社長：浅和信、以下「東電 P G」）は、「カーボンニュートラル実現に向けた共創に関する連携協定」（以下「本協定」という。）を、本日、締結いたしました。

藤沢市は 2022 年(令和 4 年)3 月に改定した「藤沢市環境基本計画」で、総合環境像として「地域から地球に広がる環境行動都市」を掲げ、地球温暖化をはじめとする、様々な環境問題について、「地球規模で考え、地域から行動を起こす。」（Think Globally, Act Locally）の視点に立ち、持続可能なまちづくりと脱炭素社会の構築を目指すとともに、市民・事業者・行政との協働・連携による環境にやさしいまちづくりを推進しています。

東京電力グループは 2050 年における CO₂ 排出実質ゼロの目標を掲げ、ゼロエミッション電源の開発とエネルギー需要の更なる電化促進により、カーボンニュートラル（以下「CN」）の実現に向けた取り組みを始めています。

本協定は、藤沢市の 2050 年における脱炭素社会の実現に向け、環境・エネルギー分野における藤沢市と東電 P G の連携を強化するものであり、相互の強みを最大限活かして地域課題の解決に協働し、脱炭素のまちづくりと持続可能な社会構築の推進を目的としています。

なお、自治体と一般送配電事業者が CN に関する協定を締結することは神奈川県内では初の取組となります。

<連携事項>

- （１）省エネ推進に向けた取組に関する事
- （２）再生可能エネルギー等の利活用及び導入拡大に関する事
- （３）脱炭素化に向けたエネルギーへの転換（電化等）に関する事
- （４）エネルギーの地産地消や面的利用等の推進に関する事
- （５）レジリエンスの強化に関する事
- （６）その他、環境・経済・社会の統合的取組の推進に関する事

また、藤沢市および東電 P G は、本協定の締結を契機に、環境・経済・社会の統合的取組を推進し、脱炭素社会・循環型社会・レジリエントな社会を目指すとともに、2050 年 CN の実現に向けて、主体的・総合的に取り組んでまいります。



(写真は、左から藤沢市 鈴木市長、東電 PG 藤沢支社 浅和支社長)

<別紙> カーボンニュートラル実現に向けた藤沢市と東京電力パワーグリッドの連携協定事項 (概要)

以上

本発表内容に関する報道関係者のお問い合わせ先

東京電力パワーグリッド株式会社	神奈川総支社	広報・渉外担当	飯野	TEL : 045-394-1233 (代表)
				TEL : 090-1846-9687 (直通)
同社	藤沢支社	渉外担当	鈴木	TEL : 080-6548-7039 (直通)

カーボンニュートラル実現に向けた藤沢市と東京電力パワーグリッドの連携協定事項（概要）



【連携協定で掲げる未来像】

- 脱炭素かつ持続可能な地域循環型社会の実現
- 環境・経済・社会の課題解決に向けた統合的な取組の推進

達成に向けた3つの柱

脱炭素化

- (1) 省エネ推進に向けた取組
- (2) 再エネ等の利活用及び導入拡大
- (3) 脱炭素化に向けたエネルギー転換(電化等)



エネルギー有効活用・安定確保

- (4) エネルギーの地産地消や面的利用等の推進
- (5) レジリエンスの強化



まちづくり、環境・経済・社会の統合的取組

- (6) その他、環境・経済・社会の統合的取組の推進



連携企業として各取組の推進を支援・共創



藤沢市



東京電力パワーグリッド株式会社